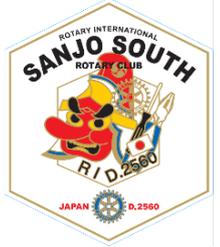




三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2021-22 クラブテーマ **継続こそ前進。**

2022. 5. 23

地区研修・協議会報告

No.2413 No.29



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会長

平松 修之

こんにちは。

先週末、政府は屋外でのマスク着用に関して、人との距離が十分に確保できなくとも、会話が少ない場合などは必ずしも着用の必要はないという発表をしました。ただし、屋外でもマスクを持ち歩き、会話の際には着用を求めるとしています。公共交通機関での通勤・通学時や、発熱などの症状がある場合のやむを得ない外出時には、今まで通りマスクの着用は必要との見解です。

小学校などの学生生活では夏に向け、屋外でのマスク着用は熱中症などのリスクが高くなるので、登下校時にはマスクを外すよう指導することにもなったようです。いよいよウィズ・コロナの時代が始まりそうです。少しずつですが、ノーマスクの生活も戻ってきそうです。油断せず注意をしながらも、熱い季節を過ごすことになると思います。ノーマスク……実現したら本当にうれしいですね！

今日5月23日は「キスの日」です。昭和21年5月23日、日本映画で初めてキスシーンが登場しました。その映画、『はたちの青春』が上映開始されたことにちなんで制定された記念日です。

当時は演技であっても人前でキスをするのは避けられていた時代でしたが、映画製作に関しても、統制していたGHQが、「ラブシーンなのにキスを見せないのは不自然だ」と映画会社に指導を入れたことにより、キスシーンの採用が決定したんだそうです。映画内ではほんのわずか唇を重ねただけだったものの、それでも大きな話題を呼んで、映画館は連日超満員だったそうです。現在では考えられませんよね！

余談になりますが、大女優「エリザベス・テイラー」のお話もちょっと。彼女は50才を過ぎた頃から極度の肥満に悩まされたようです。ハリウッドで最も肥満に苦しんだ女優とまで呼ばれましたが、最終的には、ある究極のダイエット法で美貌を取り戻したそうです。その方法とは、「冷蔵庫の扉に、自分が一番太っていた時の写真を貼る」というものでした。

これはもともと、彼女のライバルの女優が、「太ったエリザベス・テイラーの写真を冷蔵庫に貼って、『リズのようににはなってはいけない！』とダイエットに励んでいる」という噂を聞いたのがきっかけだったそうです。本来なら怒っても当然な話ですが、「これは自分にも効果があるかもしれない」と実行し、みごと成功したということです。さすがの大女優のエピソードです。

以上、今日はこれで挨拶に致します。

◆本日の出席：39名中26名

◆通算出席率：81.71%

◆メイクアップ：5/21(土)2022-23年度地区研修・協議会(ホテルオークラ新潟へ) 松崎孝史君、太田義人君(オンライン参加) 長谷川直哉君、田代徳太郎君、石山昌宏君、加藤一芳君、坪井康紀君、渡辺和宏君、丸山 智君、木村 譲君

◆幹事報告 太田 義人 副幹事

◇三条ローターアクトクラブより「創立50周年記念式典の御案内」

期日：2022年7月23日土曜日 開会：午後2時

会場：ジオワールドVIP

記念講演「ペットボトルキャップ回収と子どもワクチン支援」

講師：認定NPO法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV) 常務理事兼事務局長 奥寺憲穂様

ニコニコボックス

5/23 7,000円 今年度累計 316,906円

平松会長「きょうは地区研修・協議会の報告となっています。松崎会長エレクト宜しくお願ひします」

野崎君、田代君、荒澤君、銅冶君、長谷川君
「BOXに協力します」

熊倉君 「BOXにご協力ありがとうございました」

Rotary



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

国際ロータリー会長 シェカール メータ (インド)
第2560地区ガバナー 高尾 茂典 (新潟中央)
第4分区分ガバナー補佐 外山 晴一 (三条北)
会長 平松 修之
幹事 木村 譲
SAA 永井 篤利

事務局
〒955-8666 三条市加町2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL0256-35-3477
FAX0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

地区研修・協議会報告



松崎 孝史 会長エレクト

2022年5月21日(土) ホテルオークラ新潟において「2022 - 23 年度国際ロータリー第2560 地区地区研修・協議会」が開催され私と太田義人幹事とで参加してきました。

基調講演で、2021 - 22 年国際協議会研修リーダーの菅原裕典氏(仙台泉 RC) による「ロータリーと多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) ~地区のDEIについて考える~」と題した研修がありました。

以下、基調講演でのポイントを書きました。

現代は、変化が多く起こっています。その中でも我々が取り入れる変化とは何なのか、変化を取り入れるに当たり何をすべきなのか求められています。

どんなに良いアイデアであっても、
それがアイデアにとどまる限り難になるだろう
やってみよう、試してみよう
繰り返そう、失敗しよう
もう一度やってみよう
世界を変えよう

それでは、2022-23 年度よろしくお願い致します。



次回以降例会の御案内

6/6 通常例会「次年度計画発表 1」

6/13 通常例会「次年度計画発表 2」

6/20 夜例会「会長幹事慰労会」

於：松木屋 開会点鐘 18:30

6/27 クラブ休会

2022-23 年度 地区運営方針

再生・新生・共生



国際ロータリー第2560 地区 ガバナーエレクト 高橋 秀樹 (新潟 RC)

2022 年 1 月 20 日(木曜日)23:00(日本時間)、ジェニファー・ジョーンズ RI 会長エレクトが、2022-23 年度会長テーマを発表し、メッセージを発信しました。

テーマは
「IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー」です。

世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすことが求められています。

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」

(ジェニファー・ジョーンズ RI 会長エレクト)

第 2560 地区においても、このテーマとメッセージと共に、各ロータリークラブの活動が大いに活性化していくことを願います。その上で、以下に述べるような地区運営方針を考えております。

この2年間、日本と世界は COVID-19 のために大いに苦しめられてきました。まだ先は見通せないものの、わが国でのワクチン接種率は順調に伸び、感染者数も抑えられているようです。当地区のロータリーも、これから上昇軌道に乗っていきたくをぜひ内外に示していきたいものです。ロータリーは COVID-19 などではへこたれず「再生」していくことを、力を合わせて証明していけたらと思います。

他方、この2年間における社会の実務的な部分の変化は驚くばかりです。COVID-19 の脅威はにわかには無くならないでしょう。安全を確保し効率を上げていくため新しい技法が必要です。ハイブリット形式の催事開催、IT を駆使した新たな形での活動推進など、工夫と試行による「新生」無くして、地区が前進していくことはできないだろうと思います。

「再生」と「新生」に加え、「共生」というキーワードも重視したいと思います。

どれほど善意に溢れていても、遮二無二に進むには、それぞれのクラブの実情はあまりにも多様であり、そのことはこの2年間で一層増幅されているように感じます。当地区では残念ながらこの数年で解散したクラブもありました。同じ分区にありながら、隣のクラブが解散を本気で検討するほど追い詰められていることを知らなかったり、自クラブよりもはるかに少人数のクラブが頑張っている工夫して活性化していることを知らないまま溜息をついているクラブもあつたりするようです。クラブ同士の情報交換や智慧の共有は今こそ必要な時でしょう。

地区としてクラブを支援していくチームの活動も進めていきたいと思ひます。各クラブの個別の状況に目を向け、声を聞く姿勢を大切にしていきたいと思ひます。

そして、各クラブおよび各ロータリアンの方々には、厳しい社会経済情勢の中だからこそ、自らの職業を通してどのように社会に役立っているか、改めてお考えいただき、ロータリアンとしての誇りを新たにさせていただけたらと思ひます。そもそも、それこそロータリークラブ創設時の理念である「職業奉仕」なのですから。

このように、クラブとクラブが、クラブと地区が、そしてロータリアンと社会が助け合い「共生」していくことを重視したいと考えています。

ところで、国際ロータリーには、規定審議会で定められた**公式標語**が二つあります。

第一標語が **Service Above Self** であり、

第二標語が **One Profits Most Who Serves Best** です。

現在、世界は平和という点でも健康・衛生という点でも大変な状況にあります。ロータリーの第一標語、第二標語を改めて胸に刻み、新たな年度に臨みたいと思ひます。

【2022-23年度数値目標】

どのロータリアンにとつても、どのロータリークラブにとつても、COVID-19 禍からの事業回復に奔走なさる時期になるかと思ひますので、新規の数値目標を設けることよりも、これまでの数値目標の維持を基本にしたいと思ひます。

- (1)ロータリー財団寄付:
年次基金 150\$/会員
ポリオプラス 30\$/会員
ベネファクター10名以上
- (2)米山記念奨学金寄附:
2万円/会員(普通、特別寄付合計)

以上、地区運営方針、数値目標につきまして、何卒、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

【地区運営方針】 「再生・新生・共生」

「再生」: 2560 地区はへこたれない。

厳しい時こそ頼りがいのある輝かしい組織であることを示しましょう。

「新生」: 2560 地区は進化する。

新しい技術と工夫、効率化によって活動の内実を向上させましょう。

「共生」: 2560 地区は助け合う。

クラブと地区、クラブとクラブ、そしてロータリアンと社会のつながりを活性化させましょう。

高橋 秀樹ガバナーエレクト 略歴

所 属 新潟ロータリークラブ

最終学歴 東北大学大学院文学研究科

博士課程後期3年の課程 博士(文学)

生年月日 1965年7月15日

現 職 国立大学法人 新潟大学 教授

ロータリー歴 2001年5月8日 新潟ロータリークラブ入会

地区役員 2016-21 R財団学友会委員長 2020-22 地区学友会会長

※ロータリー財団国際親善奨学生(1999-2000年 派遣先 アメリカ合衆国ジョージア州アトランタ)

※入会以来100%出席会員

※マルチプルポールハリスフェロー、メジャードナー、ポールハリスソサエティー